

(仮称) 地区交流センターについて

小平市では、「つながり、共に創るまち こだいら」という将来像の実現に向けて、今後、新たな地域コミュニティの拠点として「(仮称) 地区交流センター」(以下、「地区交流センター」という。)の設置を進めていく予定です。

1 地区交流センターとは

■小学校に「地区交流センター」を複合化

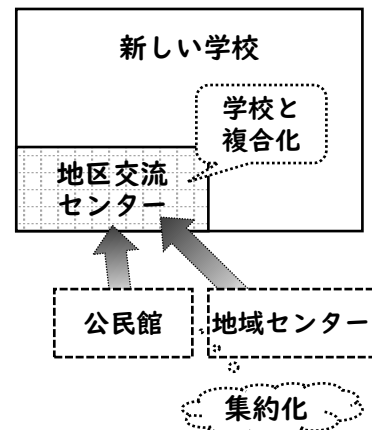
- ・小学校の更新(建替え)時期を捉え、地区交流センターを複合化(併設)します
- ・現在設計中の小平第十一小学校と小平第十三小学校が、市内で最初の事例となります(十一小は令和12年度以降、十三小は令和13年度以降に供用開始予定)

■地区交流センターの役割

- ・地区交流センターは、従来の公民館機能、地域センター機能を複合化した施設です
- ・地区交流センターの設置を契機として、小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成を図ります

■公共施設マネジメント(公共施設の総量を適正化)

- ・地区交流センターの開設に合わせ、当該地域の地域センターと公民館は機能を地区交流センターに移転するため、跡地・跡施設については、売却も含め有効活用を図ります



2 地区交流センターの機能(案)

■公民館機能

- ・従来の公民館が有していた、社会教育施設としての地域学習機能
- ・具体的には、講座の実施やサークル運営の支援等

■地域センター機能

- ・従来の地域センターが有していた、地域における場の提供機能等(部屋の貸出し等)

■地域コミュニティの醸成機能(小学校を地域の核とした地域コミュニティを醸成)

- ・職員が、地域のコーディネーターとしての役割を担います
 - 地域で活動している団体等の顔の見える関係構築を促進し、活動の裾野が広がり、団体間の連携が広がるよう、働きかけ、つなげていく役割
 - 地域の事業者等(お店、企業等)も地域と連携していきける環境づくり

※上記のほか、学校との緊密な連携体制も検討していきます
→複合化により、職員が担い得る役割等も検討



3 地区交流センターで実現する未来

■地域で実現したい未来

(以下は例示)

- ・顔の見える関係が構築される
- ・地域で活動している様々な団体同士が出会い、連携できる
- ・世代を超えた交流が促進される
- ・防災、子育て、福祉など共通の目標に向けて協力
- ・地域全体で子どもを育てる環境づくり



■学校で実現したい未来

(以下は例示)

- ・教育活動の充実（地域の方々との交流等）
→地域の方が学校をサポートするきっかけの拡大
- ・地域との共用による施設活用の最大化
- ・地域連携業務を地区交流センター職員がサポート



4 未来を実現するために（運営方法、実施事項等）

- ・市職員を配置
- ・公民館（分館）の位置づけを承継
- ・学校と地区交流センターは、セキュリティを考慮してエリア分けしつつ、共通使用できる部屋（地域交流室）を介して行き来可能とする（両エリアから施錠可）

(以下は、例示)

- ・地域コミュニティの醸成推進を継続的に検討する会議体を設置
→学校、地域（市民、事業者等）、行政（市の各関係課等）など
- ・地域の公共的な団体を広く紹介
→団体間交流のできる機会をつくる
- ・学校と地域の合同行事を企画・実施
- ・DXの観点から、利便性の向上を目指す

